

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-35 □支援部門		予防接種事業				
主管課	市民健康課	関連課	学務課・保育課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	感染症の発生予防・予防接種率の向上						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数	32,915人	37,686人	39,382人				
運営資源状況	決算値(千円)	269,532千円	193,755千円	194,523千円			
	(国・県)	20,662千円	946千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	248,870千円	192,809千円	194,523千円			
	人員配置数	2.5人	2.5人	2.5人			
	人件費(千円)	21,988千円	23,189千円	23,413千円			
	協働のパートナー	医師会・医療機関・保健福祉事務所	医師会・医療機関・保健福祉事務所	医師会・医療機関・保健福祉事務所			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	291,520千円	216,944千円	217,936千円			
	市民1人当りの経費(円)	1,646円	1,228円	1,235円			
	対象者1人当りの経費(円)	8,857円	5,757円	5,534円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
予防接種率の向上	○	目標値	90%	90%	90%	90%	90%
		実績値	88.40%	90.01%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
予防接種事業	269,532千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	・集団接種(ポリオ)、個別接種(BCG、MR混合、麻しん、風しん、三種混合、二種混合、日本脳炎、インフルエンザ(65歳以上の者及び65歳未満の低所得者)の定期予防接種を実施する。また、新型インフルエンザ予防接種として全年齢の非課税世帯等低所得者に対し、接種費用の全額を助成する。 ・子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の任意予防接種を実施する。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

<b>事業診断(課長評価)</b>	
H22年度の課題	平成22年8月に日本脳炎予防接種の新ワクチンが2期の対象者について実施できるようになったが、平成17年5月末に「積極的な接種勧奨差し控え」により対象年齢から外れた人が多数出ている。 MR予防接種対象者のうち、中学校1年生・高校3年生の接種率が80.4%・67.9%で、目標の90%に及んでいない。 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン等の任意接種について費用助成事業を実施することができたが、子宮頸がん予防ワクチンについては、ワクチンの供給不足が発生した。(国の補助事業がH.24.3.31までの実施となる)
課題解決のための取組	麻しん風しんの接種率が高学年につれて悪い状況であるため、広報等で周知徹底を図った。 子宮頸がん予防ワクチンのワクチン不足が発生したため、安定的な供給となるよう国等へ要望した。
未解決の課題	子宮頸がんワクチンの不足により、接種希望者がスムーズに接種を受けられない状況があり、受けられる状況になったら早急に周知していく。 日本脳炎予防接種の積極的勧奨差し控え者に対する国の対応が未定である。
今後の方針	国の事業では、任意予防接種事業が平成24年3月末で廃止となり定期の予防接種化が検討されている。国の動向を把握する必要がある。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ <b>A</b> ※ □事業完了 課長名 市民健康課長 大澤 一則

